

ネコのように生きるのが理想だったという。(1)自由に寝て、起きて、あくびをする。少年のころから「なまけ者としてしか生きていけない」と思い込んでいた。それが、戦争に駆り出される。ひどいボロ船で(a)南方へ送られ、米軍の①バクゲキ(爆撃)で左腕を失った▼(b)死線をさまよったが生き延びた。②ジセイ(自生)する。パイアの実を両足ではさみ、右手のさじでほじくりだして食べて、命をつないだという。運命の歯車がわずかでも違えば、③後年(こうねん)の漫画家「水木しげる」は存在せず、「ゲゲゲの鬼太郎」もこの世に現れることはなかった▼その体験もあつてだろう、亡くなった水木さんの画風はむろん、語り口も、どこかこの世とあの世を④エッキョウ(越境)していた。(c)飄々とした味わいの中には、戦争で散った仲間を⑤悼(いた)む涙があふれていたように思う▼復員後は、⑥傷痕(しようにい)軍人として⑦ガイトウ(街頭)に立ったこともあった。水木漫画で妖怪ものと並び称される戦記ものに、英雄は出てこない。兵隊たちの(d)やるせない姿だがある。不条理への⑧憤(いきどお)りが、ひしひしと伝わる▼質屋の預かり証が3枚にもなり、ろうそくの⑨灯(あかり)で絵を描いた⑩ビンボウ(貧乏)時代は、朝のNHKドラマ「ゲゲゲの女房」などでよく知られる。売れ出したのは40代半ば、遅咲きの太輪だった▼「かみさんはうまくやってくれるし、好きなこととしてメシが食えて、巨万の富も築いたわけですから」。6年前の朝日賞の授賞式で(e)茶目つ気たつぷりに語り、会場を笑わせた。享年93。砂かけ婆に手を引かれて、戦友のもとへ向かっているか。

〔2015年12月1日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 傍線部(1)もイメージさせる「ゲゲゲの鬼太郎」主題歌冒頭部を書こう。

(ゲッゲッゲゲのゲー 朝は寢床でグーグーグー) 作詞…水木しげる

問三 次の(ア)～(カ)に本文から適する語を抜き出して書き入れよう。

戦争で(ア 左腕)を失う。(イ 死線)をさまよったが生き延びる。

画風や(ウ 語り口)には戦死した仲間を悼む涙があふれている。

戦記ものからは、兵隊の受けた(エ 不条理)への憤りが伝わってくる。

売れ出したのは(オ 40代)半ば。茶目つ気のある人柄。享年93。

問四 文中の(a)～(e)の意味を調べよう。

(a)…(東南アジアの地域。)

(b)…(生きるか死ぬかの境目。もと牢獄でそれを越えると銃殺される線。)

(c)…(行動が世人とかけ離れていて、つかまえてどころがない様子。)

(d)…(苦しさや悲しさを紛らわすものがなく、前途に希望が持てない様子。)

(e)…(無邪気ないたずらをする様子だ。)

問五 次の特徴を持つ妖怪の名前を語群から選んで書き入れよう。

ア 巨大な壁 (⑥) イ 空飛ぶ布 (⑦) ウ 妖怪アパート経営 (②)

エ 重くなる (①) オ ビビビーン (⑤) カ 髪の毛針 (④)

〔語群〕①子泣きじじい ②砂かけ婆 ③目玉おやじ ④鬼太郎

⑤ねずみ男 ⑥ぬりかべ ⑦一反木綿 ⑧ネコ娘